

授業科目名		現代日本社会事情		担当教員名	速水 奈名子	
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
教養教育科目	選択	2	1~4	春・秋学期	(春学期) 火・2	講義
					(秋学期) 木・4	
授業概要						
<p>社会学の基礎理論を学びつつ、日本社会における文化、宗教、政治、経済、そして家族や教育といった諸制度についての理解を深める。授業の前半では、グローバル化が進むなかで、日本社会における伝統的な社会制度の形態が、どのように変容してきているのか検討していく。後半では講義内容を踏まえて、クラス内でディスカッションやプレゼンテーションを行う。</p>						
到達目標						
<p>現代日本社会の事情を知ることを通じて、自らが置かれた環境を客観的に認識し、「社会」といかに関わっているのか、またこれから関わっていくべきなのかを考察する。</p>						
授業方法(展開)						
<p>授業は基本的に講義形式で行うが、生徒間のディスカッション、プレゼンテーションも考えている。新聞、雑誌、ビデオなどを積極的に用いて社会現状のより深い理解をめざす。</p>						
関連科目・知識・スキル						
成績評価						
<p>基本的に学期末試験（論述試験）をもとに成績評価を行うが、授業内に行うプレゼンテーションや、授業中の態度も評価の対象とする。</p>						
教科書・参考書など						
<p>授業内で随時紹介する。</p>						
履修上の注意事項						
<p>配布資料をこちらで準備する。</p>						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

■授業スケジュール

タイトル：「グローバル化と日本」

- 1) オリエンテーション：授業構成、成績評価など概説
- 2) 日本における制度Ⅰ：日本の宗教、文化
- 3) 日本における制度Ⅱ：日本の家族
- 4) 日本における制度Ⅲ：日本の政治
- 5) 日本における制度Ⅳ：日本の経済
- 6) 現代日本社会Ⅰ：グローバル化と日本
- 7) 現代日本社会Ⅱ：近代からポスト近代へ—個人主義の時代
- 8) 現代日本社会Ⅲ：少子・高齢化と雇用制度の変容
- 9) 現代日本社会Ⅳ：ジェンダー問題
- 10) 現代日本社会Ⅴ：格差問題
- 11) 現代日本社会Ⅵ：マンガ・アニメのグローバル化
- 12) 現代日本社会Ⅶ：ファッショングローバル化
- 13) ディスカッションⅠ：政治・経済
- 14) ディスカッションⅡ：国際関係
- 15) ディスカッションⅢ：日本人が視る日本・外国人が視る日本

学生への一言

授業に関する質問等があれば、気軽に声をかけてください。